

術前薬物療法が有効であった先端巨大症の一例

菅田 淳¹⁾ 藤尾 信吾¹⁾ 牧野 隆太郎¹⁾
 花田 朋子¹⁾ 竹内 直矢²⁾ 川出 茂²⁾
 花谷 亮典¹⁾

1) 鹿兒島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学

2) 鹿兒島大学大学院医歯学総合研究科 糖尿病・内分泌内科学

【はじめに】

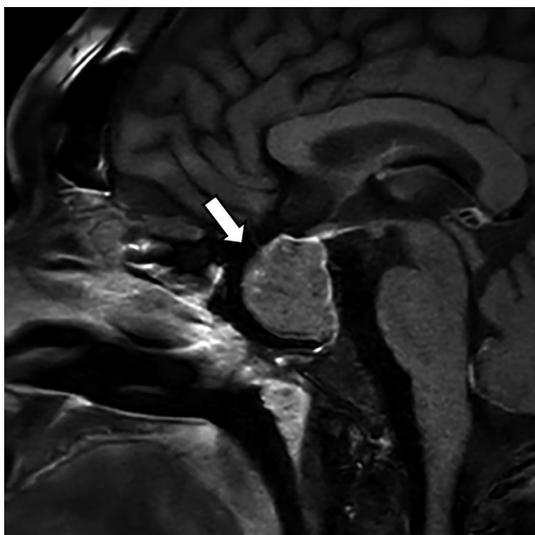
先端巨大症は成長ホルモン(GH)の過剰によって引き起こされる疾患で、その原因のほとんどはGH産生性の下垂体神経内分泌腫瘍(PitNET)である。四肢末端の肥大、顔貌の変化といった外見上の問題だけでなく、高血圧、糖尿病、睡眠時無呼吸症候群などの全身合併症を引き起こし、生命予後も悪化する。治療の第一選択は手術療法であるが、GH過剰によって舌や咽頭粘膜、軟部組織の肥厚が引き起こされるため、全身麻酔の際に挿管困難や気道閉塞の危険性があることが

知られている¹⁾。今回、薬物療法を手術加療に先行することで、安全に手術を行い、良好な経過が得られた先端巨大症の一例を報告する。

【症例】

これまで特に既往歴のない30歳代男性。糖尿病性ケトアシドーシスのため前医入院となり、その際に最大径29mmの下垂体腫瘍を指摘された(図1)。特徴的な顔貌は認めなかったが、体重117kg、BMI42と肥満体であり、血液検査では、GHが4.6 ng/mL、インスリン様成長因

A



B

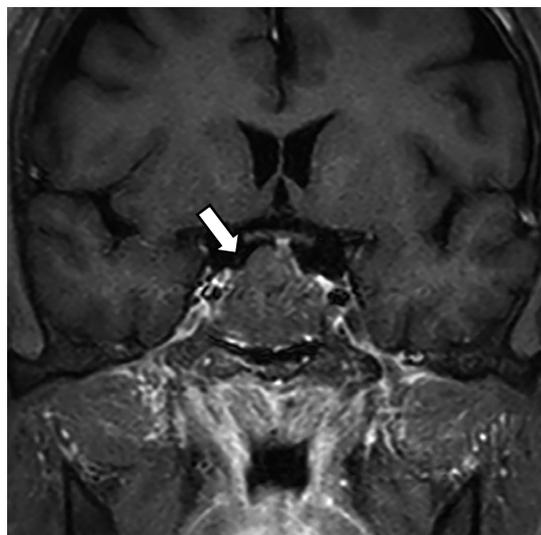


図1：術前の頭部MRI造影T1強調画像。A: 矢状断、B: 冠状断。
トルコ鞍内から鞍上部に突出する長径29mm大の下垂体腫瘍を認める(矢印)。

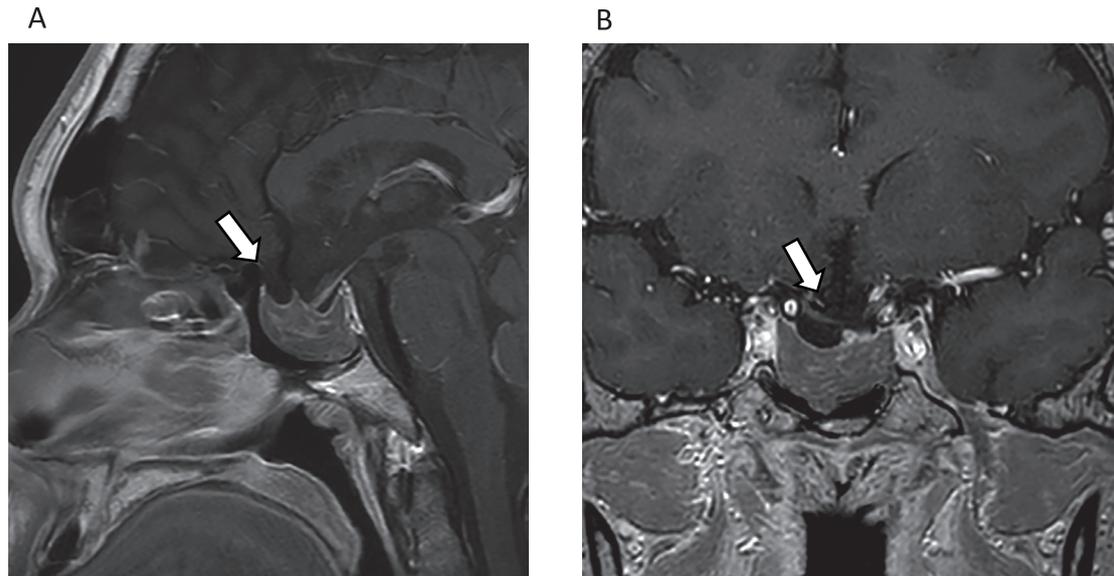


図2：薬物療法後の頭部MRI造影T1強調画像。A: 矢状断、B: 冠状断。
鞍上部の腫瘍が縮小している(矢印)。

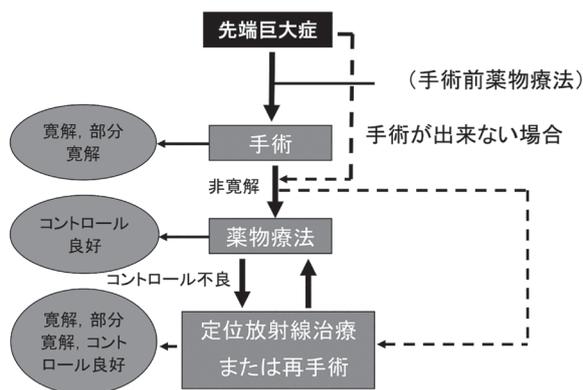


図3：先端巨大症に対する治療のフローチャート

子1(IGF-1)が489ng/mL (+5.0SD)と高値を認め、75g経口ブドウ糖負荷試験でGHは正常域に抑制されず、先端巨大症と診断された。手術加療を検討したが、終夜睡眠ポリグラフィーで無呼吸低呼吸指数(AHI)が53回/hと重度の睡眠時無呼吸症候群を認めた。全身麻酔が導入困難となる危険性があり、術前に薬物療法を先行することとした。4週間毎に持続性ソマトスタチンアナログ製剤ソマチュリン® 90mgの投与を2回行ったところ、AHIは8.2回/hに著明に改善した。また、術直前の頭部造影MRIでは腫瘍の縮小も

得られていた(図2)。その後、内視鏡下経鼻経蝶形骨洞的下垂体腫瘍摘出術を行い、腫瘍を全摘出した。全身麻酔を含め、周術期合併症を認めることはなく、経過良好にて自宅退院となった。

【考察】

「間脳下垂体機能障害と先天性腎性尿崩症および関連疾患の診療ガイドライン2023年版」から、先端巨大症に対する治療のフローチャートを示す(図3)²⁾。重症の心不全、高血圧、睡眠時無呼吸症候群などを合併している場合には、周術期リスクの軽減のために術前薬物療法が考慮される。他にも腫瘍縮小効果を期待して術前薬物療法が行われることがあるが、術前薬物療法が先端巨大症の手術寛解率を改善させるかどうかについては依然として議論の余地がある³⁾。先端巨大症に対する術前薬物療法の適応については、個々の症例に応じて慎重に検討する必要がある。

【参考文献】

- 1) Seidman PA, et al. Anaesthetic complications of acromegaly. Br J Anaesth. 2000 ; 84 : 179 – 182.
- 2) 有馬寛, 他. 間脳下垂体機能障害と先天性腎性尿崩症および関連疾患の診療ガイドライン2023年版. 日本内分泌学会雑誌. 2023 ; 99 : 21 – 23.
- 3) Albarel F, et al. Preoperative Medical Treatment for Patients With Acromegaly : Yes or No?. J Endocr Soc. 2022 ; 6 : 1 – 6.

入退会・異動に関するお願い

会員情報に変更が生じる場合は、速やかに届出書の提出をお願いいたします。

手続きの際は、所属郡市医師会へご連絡ください。

【氏名・勤務先・自宅住所の変更など(郡市医師会が変わらない場合)】

「異動報告書」を所属郡市医師会にご提出ください。

【郡市医師会間の異動】

異動前の郡市医師会へ退会届出書と、異動後の郡市医師会へ入会申込書の提出が必要です。日医 A①会員、A②(B)会員・A②(C)会員の方は退会と同時に日医医賠償保険が適用されなくなりますので、速やかに入会申込書をご提出ください。

「退会届出書」を異動前の郡市医師会にご提出ください。

「入会申込書」を異動後の郡市医師会にご提出ください。

【医師会を退会する場合(県外転出や海外留学など)】

「退会届出書」を所属郡市医師会にご提出ください。

問い合わせ先

鹿児島県医師会 庶務課 TEL(099)254-8121